



8月1日（土曜日）野々市じょんからまつり
オープニングセレモニーにて、挨拶する栗市長

ごあいさつ

平成 27 年 8 月 3 日

連日暑い日が続いているなか、今年も1日、2日の「野々市じょんからまつり」が行われました。会場にお越しの皆さんが大変良い表情でいらっしゃるのを拝見し、まつりを楽しんでいただけているのだと感じました。

まつり会場に出向き、いろんな人と話し、出会うことで地域に関わりをもつことになります。そうすることで自分が住んでいる場所への愛着心がわきます。さらには自分の生活する環境をもっとよくしたいという気持ちが働き、それが「住みやすいまち」づくりにつながるのではないかと思います。

常々申し上げている野々市ブランド確立ということや、市の内外への発信の象徴のひとつとして「野々市じょんからまつり」はあります。多くの方に参加していただき、楽しんでいただくことにより、良い評価をいただく「まつり」となります。今年も盛大に終えることができたことで、会場にお越しいただいた皆様、また、裏方として円滑な運営に関わっていただいた皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

金沢工業大学のご協力をいただき、先月 25 日に「日本一楽しいまち・野々市市」を実現する！と題した市民フォーラムを開催いたしました。これは「まち ひと しごと創生総合戦略」の策定に向け、市民の皆さんからご意見をいただくために開催したものです。

野々市の将来の人口分析についての中野教授の講演のあと、グループワークとして「2040年の野々市市で起こった象徴的な出来事」という未来新聞づくりをしていただきました。現在の野々市の状況もふまえ、自由な発想で未来への「夢」がありました。大変斬新なアイデアもあり、これらの提案をすべてとはいわないまでも、描かれたことが織り込めるようなことができればいいと思います。

市民の皆さんに対して市として、どのようにすれば幸せを与え続けることができるかということを実際に考えていかなければならないと考えております。

今月 23 日には市の総合防災訓練が実施されます。災害はいつ起こるかは誰にもわかりません。この生活の時間帯ならば、どう行動すればいいのか、また災害時に市内にいなかった場合はどうなるのかなど、あらゆることを想定しながら実際に体を動かしてみて、気づいたことを得ることが大切です。

年に一回の訓練ではありますが、ご理解をいただき、多くの市民の皆さんのご参加のほどよろしく願いいたします。